

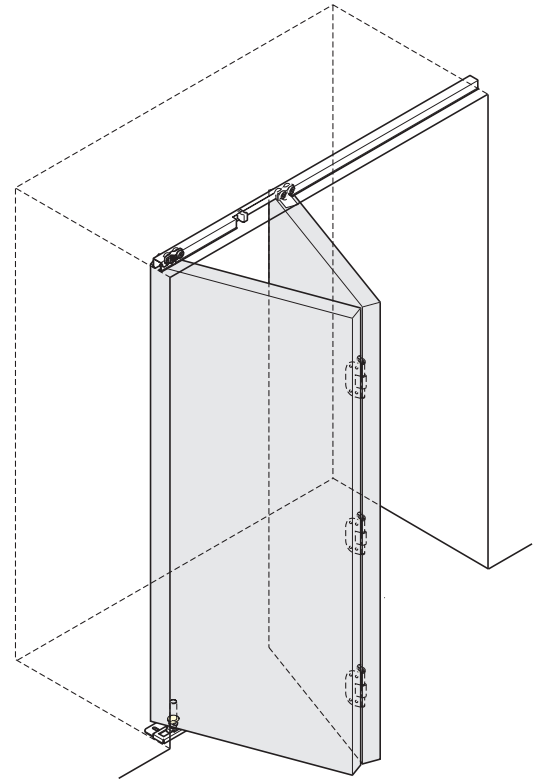
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。
施工前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
施工後は本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 取付けがシンプルな収納用の折戸金物です。

仕様

扉幅	450 mm以下
扉高さ	2400 mm以下
扉厚さ	30 mm以上
扉質量	15 kg以下
扉上下調整範囲	± 4 mm



正しく安全に施工していただくために

図記号の意味

 警告 注意	 禁止	 厳守
---	--	--

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

- ❶ 本製品の施工は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより、思わぬけがをするおそれがあります。
- ❶ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉などが脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊖ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊖ 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❶ 本製品は建具を構成する為の部品です。施工後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認いただくと共に、建具自体の安全に関わる使用者への注意喚起も行ってください。
- ❶ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❶ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ⊖ 扉に無理な力を加えないでください。故障の原因になります。
- ❶ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください。)

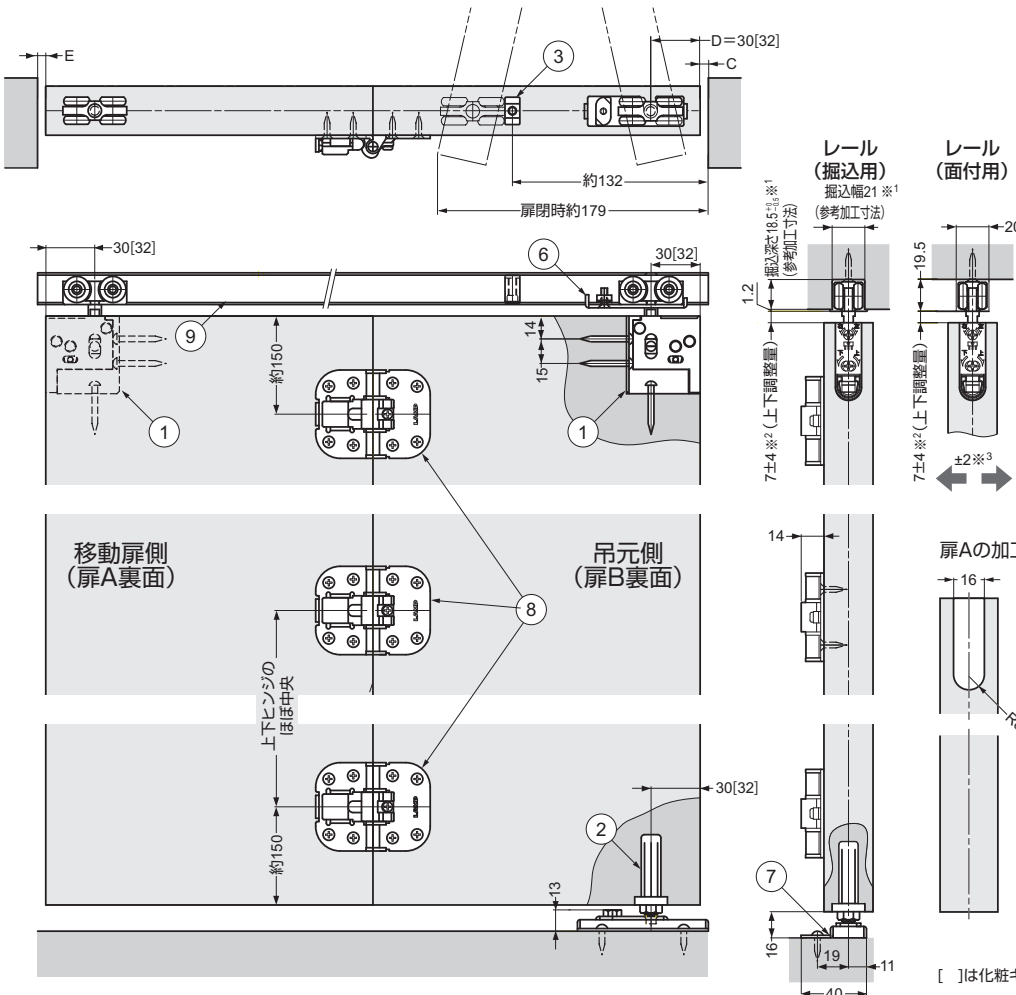
部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
品名	上ローラー (掘込用)	下ピボット	ストッパー ブロック	打込工具	折戸用スパナ	固定金具	ピボット軸受 (床付用)
品番	FD30-WRH	FD30-FBP	FD30-HSB	FD30-FSJ	FD30-FSP	FD30-FKK	FD30-FPU
部品							
付属品	なべタッピンねじ 3.5×30	—	—	—	—	—	トラスタッピンねじ 4×16
2枚扉用		2ケ	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ
4枚扉用		4ケ	2ケ	2ケ	1ケ	2ケ	2ケ

No.	⑧	⑨	
品名	センターヒンジ (面付用) 角度調整	レール (面付用)	レール (掘込用)
品番	FD30-CHM	FD30-TRM 型	FD30-TRH 型
部品			
推奨ねじ	皿タッピンねじ 3.5×16	皿タッピンねじ 3.5×20	
2枚扉用		面付用か掘込用を1本	
4枚扉用		面付用か掘込用を1本	

	⑩	⑪	⑫
オプション	上ローラー用 化粧キャップ	戸先振れ止め	マグネット式 戸先振れ止め
	FD30-WRH-CP	FD30-FTF	FD30-FMF
付属品	—	—	フランジ付丸頭木ねじ3.1×16 皿タッピンねじ3.5×16

寸法図



■ 枠と扉の最小すき間寸法

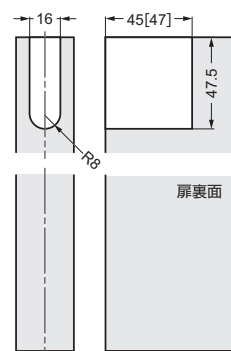
扉厚	吊元側のすき間C (D=30の場合)	左右のすき間C+E (D=30、折戸1組の場合)			
		扉幅 300	扉幅 350	扉幅 400	扉幅 450
30	4.0	7.5	7.0	6.7	6.4
35	5.2	9.5	8.9	8.5	8.2
40	6.5	11.7	11.0	10.5	10.1

※¹ クロス等を巻き込む場合、別途寸法を加味してください。

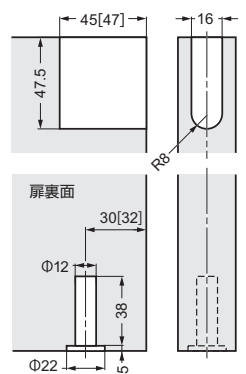
※² 扉の高さは-4 mm から +4 mm の範囲で調整可能。

※³ 扉の左右は-2 mm から +2 mm の範囲で調整可能。

扉Aの加工寸法



扉Bの加工寸法



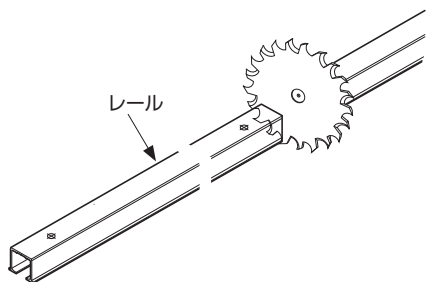
[]は化粧キャップを付けた場合の寸法です。

取付手順

1 レールの切断

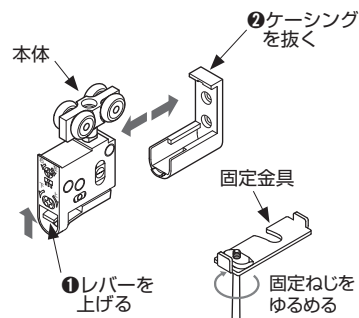
△注意

レールが変形しないようにレールの中に補強材などを入れて切断してください。切りくずはきれいに取り除いてください。



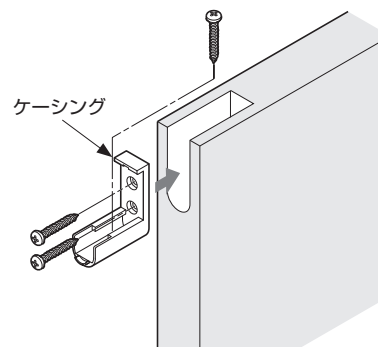
2 ケーシングの取外し

上ローラーを本体とケーシングに分けてください。



3 ケーシングの取付け

付属ねじで確実に固定する。

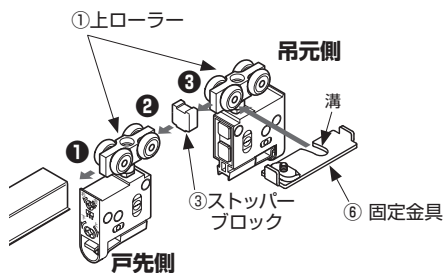


4 レールへの部品の組み込み

部品の向きに注意して、①～④の順番に組み込み、レールを取り付ける。

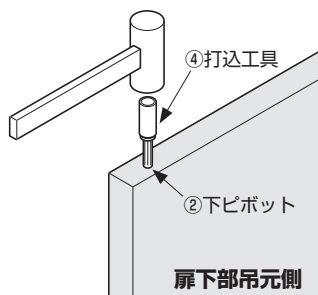
△注意

組み込んだ部品が落ちないように、固定金具を仮止めしてください。



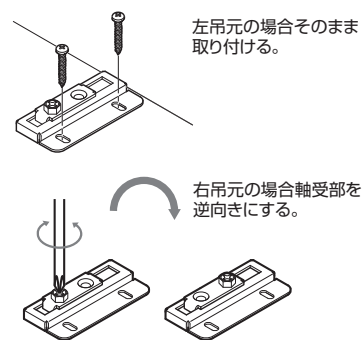
5 扉への部品取付け

下ピボットを打込工具で樹脂部分が割れないように注意して打ち込む。



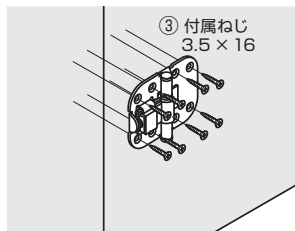
7 ピボット軸受の取付け

吊元側の所定の位置に付属ねじで固定する。



6 センターヒンジの取付け

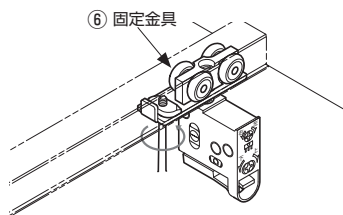
3つのヒンジの向きを合わせて扉に固定する。



8 扉の吊り込み

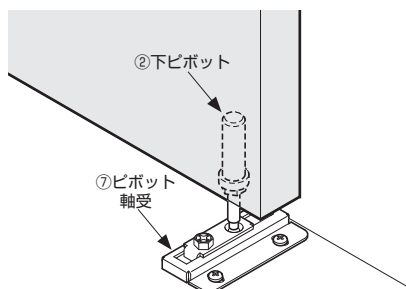
[1] 固定金具の仮止め

レールに組み込んだ固定金具を寸法図を元に仮止めする。



[2] 扉の吊り込み（下側）

ピボット軸受の穴に下ピボットの軸先端を乗せる。

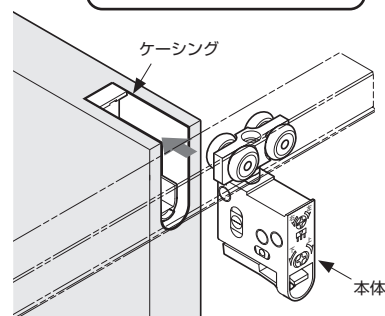


[3] 扉の吊り込み（上側）

上ローラー本体を裏側のケーシングにクリック音がするまで差し込む。

△注意

上ローラー本体が外れないか確認してください。

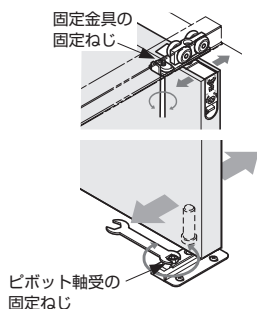


9 扉の動作確認、調整

扉をゆっくりと動かし、動きが悪かったり、扉の落ち込みや傾きがある場合、調整する。

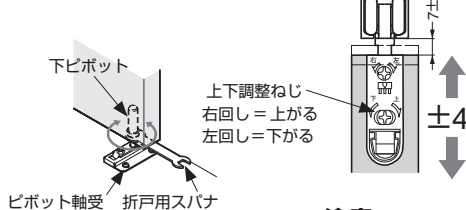
[1] 傾き調整

支持金具上とピボット軸受の固定ねじをゆるめ、扉を垂直にしてから固定ねじを締め付け固定する。

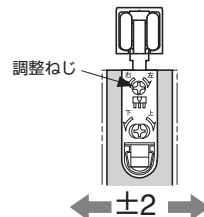


[2] 扉の上下調整

下ピボットの六角ナットを折戸用スパナで調整してから、上ローラーの上下調整ねじをブラスドライバーで調整する。



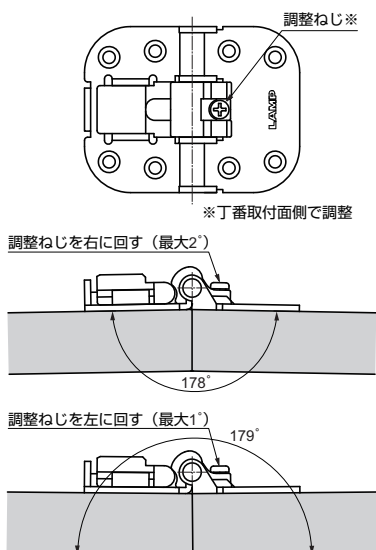
[3] 扉の前後傾き調整



△ 注意

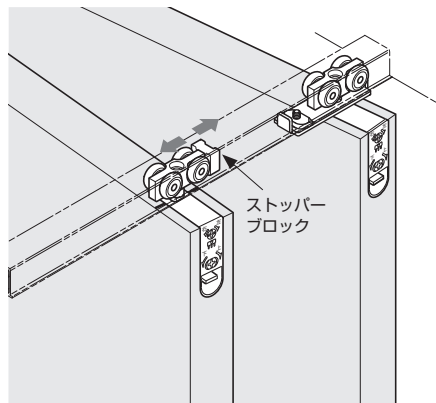
調整ねじは調整範囲以上に回さないでください。
電動ドライバーは使わないでください。

[4] 扉の角度調整



10 ストッパーブロックの位置調整

扉をゆっくりと畳んだ状態で扉同士がV字形状を保持し、締める時にスムーズに扉が動く位置にストッパーブロックを調整し、しっかりと固定する。



取付後の確認…ねじの締め忘れ、取り付け忘れのないことを確認してください。

定期点検	
	<ul style="list-style-type: none"> ・レール内の掃除をおこなってください。 ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。

■ 困った時の対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	扉が隣接する箇所と摺っていませんか。	扉が隣接するものと摺らないように扉の調整をしてください。
	レール内にごみやアルミの切粉が付いていませんか。	ごみやアルミの切粉を取除いてください。
	レール部のローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	床面に扉下面が摺っていませんか。	レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をして頂き、床面と扉下面との隙間が 16 mm になるように調整してください。
	扉が隣接する箇所と摺っていませんか。 扉に反りが発生していませんか。	扉が隣接するものと摺らないように扉の調整をしてください。 反りのない扉をご使用ください。
扉が開閉しない	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように、レールを付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2021.11. 0476-7